平成25年海津市議会第3回定例会

◎議事日程(第3号)

平成25年9月2日(月曜日)午前9時開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 議案第60号 平成25年度海津市一般会計補正予算(第3号)
- 日程第3 議案第61号 平成25年度海津市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 日程第4 議案第62号 海津市税条例の一部を改正する条例について
- 日程第5 議案第63号 海津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 日程第6 議案第64号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第7 認定第1号 平成24年度海津市水道事業会計決算の認定について
- 日程第8 認定第2号 平成24年度海津市介護老人福祉施設事業特別会計決算の認定について
- 日程第9 認定第3号 平成24年度海津市介護老人福祉施設事業デイサービスセンター特別会計決算の認定について
- 日程第10 認定第4号 平成24年度海津市介護老人保健施設事業特別会計決算の認定について
- 追加日程第1 緊急質問
- 追加日程第2 統合庁舎整備特別委員会の調査報告について

◎出席議員(17名)

1番	伊藤秋弘君	2番	山田武君
3番	川瀬厚美君	4番	浅井まゆみ君
5番	六鹿正規君	6番	藤田敏彦君
7番	山田勝君	8番	堀田みつ子君
9番	森昇君	10番	松岡光義君
11番	服部寿君	12番	水谷武博君
13番	飯田洋君	15番	星野勇生君
16番	永田武秀君	17番	西脇幸雄君

18番 赤尾俊春君

◎欠席議員（なし）

◎欠員（1名）

◎地方自治法第121条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

市 長	松 永 清 彦 君	副 市 長	後 藤 昌 司 君
教 育 長	横 井 信 雄 君	総務部長併 選挙管理委員会 事務局書記長	福 田 政 春 君
総務部次長兼 (施設担当) 財政課課長 (施設担当)	岡 田 健 治 君	総務部総務課長併 選挙管理委員会 事務局次長	渡 邊 良 光 君
総務部財政課長	白 木 法 久 君	企 画 部 長	服 部 尚 美 君
会 計 管 理 者	馬 場 司 郎 君	産 業 経 済 部 長	中 島 智 君
建 設 部 長	丹 羽 功 君	水 道 環 境 部 長	鈴 木 照 実 君
市 民 福 祉 部 長	木 村 元 康 君	市 民 福 祉 部 次 長 (施設担当)兼 サンリバーはつらつ 事務 長	伊 藤 裕 康 君
消 防 長	吉 田 一 幸 君	教 育 委 員 会 長 教 務 局 長	三 木 孝 典 君
教 育 委 員 会 長 教 務 局 次 長 (施設担当)	菱 田 昭 君	監 査 委 員 会 長 監 査 局 長	徳 永 廣 徳 君
農 業 委 員 会 長 事 務 局 長	高 木 栄 君		

◎本会議に職務のため出席した者

議会事務局長	青木	彰	議会事務局長	水谷	理恵
議会事務局長	中野	浩二	議会事務係長		

◎開議宣告

○議長（赤尾俊春君） 定刻でございます。

ただいまの出席議員は17名であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

(午前9時00分)

◎会議録署名議員の指名

○議長（赤尾俊春君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第87条の規定により、議長において1番 伊藤秋弘君、2番 山田武君を指名します。

ここでしばらく休憩をいたします。

(午前9時00分)

○議長（赤尾俊春君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前9時25分)

○議長（赤尾俊春君） ただいま駒野工業団地遅滞責任について六鹿正規君から緊急質問の通告があります。六鹿正規君の緊急質問の件を議題として採決します。

この採決は起立により行います。

六鹿正規君の駒野工業団地遅滞責任についての緊急質問に同意の上、日程に追加し、追加日程第1として日程の順序を変更して、直ちに発言を許すことに賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

○議長（赤尾俊春君） 議員総数16人、起立16人、全員起立です。よって、六鹿正規君の駒野工業団地遅滞責任についての緊急質問に同意の上、日程に追加し、追加日程第1として日程の順序を変更し、直ちに発言を許すことは可決されました。

ここで追加議事日程を配付します。

[追加議事日程の配付]

◎緊急質問

○議長（赤尾俊春君） 追加日程第1、緊急質問を議題とします。

質問時間は、申し合わせによりまして1人当たり30分以内です。残り時間5分でチャイム1回、1分でチャイム2回を鳴らしますので、よろしく願いをいたします。

◇ 六 鹿 正 規 君

○議長（赤尾俊春君） 六鹿正規君の発言を許可します。

5番 六鹿正規君。

〔5番 六鹿正規君 登壇〕

○5番（六鹿正規君） まずもって、議員各位の温かい御支持、また御理解に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

それでは、緊急質問をさせていただきます。

海津市議会議長 赤尾俊春様、海津市議会議員 六鹿正規。

緊急質問申出書。

次のとおり申し出ます。

要旨といたしまして、駒野工業団地遅滞責任について、質問相手、市長。

「駒野工業団地工程計画表」に示された排水同意をいただかなければならない8月31日が過ぎました。

市長、排水同意はいただけましたか。

きょうまで山田勝議員を初め、私を含む幾人もの議員が質問してきた「駒野工業団地」、また進め方、大勢の市民も首をかしげる「駒野工業団地」、そしてタイムリミットを間際に控えた今定例会の中、三氏による「駒野工業団地」関連一般質問に対して市長の答弁は、ただ、「頑張ります、中止は考えていません」の言葉を繰り返すだけでした。

市長、あなたの責任問題も含めて今後どうされるのか、お尋ねします。

ありがとうございました。

○議長（赤尾俊春君） 六鹿正規君の質問に対する市長の答弁を求めます。

市長 松永清彦君。

〔市長 松永清彦君 登壇〕

○市長（松永清彦君） 六鹿正規議員の駒野工業団地遅滞責任についての緊急質問にお答えします。

さきの一般質問で御説明いたしましたように、私と副市長が組合の窓口の方にお会いし、以来、担当課だけに任せるのではなく、私みずから頭を下げてお願いを続けてまいりました。7月下旬には私と副市長が中心となり、駒野工業団地の推進についてのお願いを全組合員の方にさせていただきました。8月には駒野工業団地開発事業を推進することの同意書をいただきに上がっており、全組合員42名中、3分の2以上の30名の方の御賛同をいただくことができました。組合員の皆様の御意見を伺ったところ、「ぜひ海津市の発展のため、早く工業団地をつくってほしい」とのありがたいお言葉をいただくことができ、決意を新たにいたしました。

この結果を受け、組合窓口の方に「排水同意に向けた組合役員会、臨時総会を何とぞ開催していただけないでしょうか」と誠心誠意お願いをしておりますが、残念ながら、いまだ理解を得るまでに至っておりません。

今後の対応につきましては、引き続き組合窓口の方等に役員会、臨時総会の開催について誠心誠意お願いを続けてまいるとともに、岐阜県土地開発公社と協議を継続してまいります。

今までもお答えさせていただいておりますが、この事業を一生懸命やって市民の皆様の負託に応えていくことが私の責任であると思っています。途中で投げ出すことは絶対にできません。これまで何度も申し上げましたように、本事業を中止することは考えておりません。当初の目的を達成するため、引き続き全力で取り組んでまいります。

以上、六鹿正規議員の緊急質問に対する答弁とさせていただきます。

○議長（赤尾俊春君） 再質問ございますか。

〔5番議員挙手〕

○議長（赤尾俊春君） 5番 六鹿正規君。

○5番（六鹿正規君） まず、私がお伺いしたいのは、あの工程計画表、あれは何であったのかと。あの重みはどのように考えておられるのか、お尋ねします。

○議長（赤尾俊春君） 市長 松永清彦君。

○市長（松永清彦君） 工程計画表でございますけれども、あれに沿ってできる限り進めてまいりたいということで努力してまいりました。それに沿って進めることが大事であると、このように認識しております。

〔5番議員挙手〕

○議長（赤尾俊春君） 5番 六鹿正規君。

○5番（六鹿正規君） 工程表というのは、まさしく市長が言われる、その工程表に沿って事を進める。しかし、大きな同意の問題で8月31日というのは明確に記載されておりました。私は、それに対してどう思っておるのか。

ただ、私どもはこうして頑張っております、3分の2以上の同意をもらいましたと、それはそれで置いておいて、タイムリミットである8月31日は何だったのかということをお尋ねするんです。

○議長（赤尾俊春君） 市長 松永清彦君。

○市長（松永清彦君） 六鹿議員さんは置いておいてとおっしゃいましたけれども、私は3分の2以上、この数字は非常に重いものがあると、このように認識をいたしております、引き続き組合長、あるいは窓口の方をお願いをしてみたいと、このように思っております。

〔5番議員挙手〕

○議長（赤尾俊春君） 5番 六鹿正規君。

○5番（六鹿正規君） 本来であれば、もっと早く市長が行動して、こういった8月31日のタイムリミットを過ぎる前にやるべきではなかったのか。そうすれば、私もここで改めての再質問をする必要はなかったわけです。

だから、そういった点を市長は、ただ、反省しております、恐らくそういった言葉で来るでしょう。なぜ8月31日を過ぎたのかということが、私はまず第一なんですよ。「今、頑張っております、これだけもらいました」と。それは、その日にちをまたいででしょう。またいで、今現在、タイムリミットで、まだ全員のその同意がとられていないというのが現実だということ、違いますか。

私は、あなたの行動が遅過ぎる。ですから、工程表どおりに行かなくなったのはあなたの大きな責任だということを、私はまず申しております。

それともう1点、私も前回の一般質問で申し上げました。工業団地、企業誘致は、私どもも賛成ですと、反対はしてはおりませんと。ただ、その中で何かやり方が間違っはいませんかということで私は質問しております。

私ども議会、議員は、何遍も繰り返しますけれども、海津市の発展をみんなが、議員さんばっかじゃない、きょうお見えになる皆さん方も海津市の発展を当然願っております。そういった願いをかなえるがためにも、私はあなたのこの工業団地の進め方がどこか間違っているのではないかということをお尋ねすることを、まずお伝えします。

私は一般質問でも申し上げましたように、城南中学のグラウンドに関しての土地の買収、当然、田と宅地の部分は差が、金額が違いましたね。これは当然だと思うんです。しかし、今回の駒野工業団地、あのロイヤルゴルフさんの土地に関しては、なぜ公社が同一価格で、これ本当に同一価格で買収されたんですかね。私はそういうふう聞いておるんですけれども、市長はどのように聞いておられますか。

○議長（赤尾俊春君） 市長 松永清彦君。

○市長（松永清彦君） 土地を買われましたのは土地開発公社でございまして、私はその細部にわたっては認識をいたしておりません。

〔5番議員挙手〕

○議長（赤尾俊春君） 5番 六鹿正規君。

○5番（六鹿正規君） 市長は細部について承知していないと。しかし、私が一般質問の中で、きょうもこうやって繰り返しました、同一価格で買収されたと聞いておると。それに対して、一度でも公社のほうへ、こんな話を聞いたけれども、本当ですかということをお聞き合わせたいことはありますか。

○議長（赤尾俊春君） 産業経済部長 中島智君。

○産業経済部長（中島 智君） 単価の関係でございまして、これは公社のほうで、今、市

長が答弁したとおり買収しております。内容については、私どもある程度概略は聞いておりますけど、ただ、まだ事業の半ばでございまして、事業を完了しておりません。いろいろそんな面も、事務手続上の今後の進め方において非常に誤解を招くというようなこともございます。事務の推進の妨げになるというようなこともございますので、単価等については、今まで過去に答弁させていただいておりますが、公開というか、情報提供はさせていただいておりません。

今後とも、ひとつ先ほどから市長が申しておりますように、8月31日が過ぎましたけど、決して私ども諦めておるわけではございません。一日も早く皆様方の同意をいただきまして、駒野工業団地の推進に全力を傾けていきたいと思っておりますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

[5番議員挙手]

○議長（赤尾俊春君） 5番 六鹿正規君。

○5番（六鹿正規君） 今、部長にまで答弁していただいて大変恐縮に存じます。

私は、幾らで買収したかとか、そんな中身を聞いておるんじゃないんですよ。同一価格で、要は農地の8分の1しか課税をされていないような山林を宅地と同じ価格で買収されたと聞くが、承知しておるかということをお聞きです。幾ら、金額がどうのこうのとは私は聞きません。それこそ情報公開かもしれん、私はそういったことを聞きますから。海津市においては城南中学のあのグラウンドの用地、田があったでしょう、畑があったでしょう、宅地もあったでしょう、それぞれ買収価格が違うはずなんです。しかし、駒野工業団地では同一価格で買収されたということをお聞きです。私は、承知しておりますか、本当ですかということをお尋ねするんです。

私は、正直言って公社へ聞きました。「そういった場合もあります」と言われました。それに対して市長は、「鑑定士を入れてきちっとやっておってくれるはずだ」と。じゃあ、その鑑定士が本当に農地の8分の1の課税しかしていない山林を宅地と同じに買うということは、それを鑑定した、その鑑定士の鑑定は本当に正しいんですか。これは、本来鑑定し直しをすべきではないのかと。

○議長（赤尾俊春君） 六鹿正規議員にお願いをいたします。緊急性のある質問をしていただきたいと思ひます。

[5番議員挙手]

○議長（赤尾俊春君） 六鹿正規君。

○5番（六鹿正規君） わかりました。

今、こういったことも、私は今までの質問の中であやふやにされてきたような気もいたします。そういったことを踏まえて、このタイムリミットについて緊急質問でお尋ねしました。

また、そういった中で、今、市長が現地に入って皆さんにお話をされているのは事業の推進なんです。これは先ほども言うたように、皆さん同じなんです。しかし、この推進を皆さんの御理解をいただくのであれば、排水同意というのはすごく大事な問題なんです。その理解を得ずして、多数決で事業推進なんだから事業を推進するという、そのやり方は、私は間違っておると思うんですよ。

私はいろいろ考えて、きょうは寝ずに考えてきました。その中で、私はこういった文面を考えました。排水同意を取りつけるため、山下土地改良区の総会で決議された案件を覆そうと関係者に対してあなたが今なされていることは、関係者の人間関係をただ壊すだけに等しい。こんなやり方で、果たして本当に工業団地が完成して企業が来るんだろうかと、そういったことも懸念されます。

私どもは、冒頭にお話ししたように、恐らくこの海津市民全体が海津市の発展を願っておるということは間違いありません。人口をふやすこと、企業に来ていただきたい、その思いは、誰ひとり反対する者はいないと思うんです。ただ、こういった形で私が緊急質問等々をさせていただくようなことになったのは、どこかやり方が間違っていないかということで私はお話をさせてもらいました。

今回、また議長のほうから静止が入るかもしれません、そんなことは、私はもう控えますけれども。

ですから、この8月31日のタイムリミットはもう過ぎました。じゃあ、このタイムリミット、今度はいつと設定するおつもりですか。それでなかったら、こういったケーブルテレビ等々を見られて、市報等々を見られて、この問題はどうなっておるんだと、いつまで尾を引いていくんだろうな、大きく皆さんが関心があると思うんです。一つ一つのタイムリミットを何日間ずらすのか、そういった考えが今あるのであればお尋ねします。

○議長（赤尾俊春君） 市長 松永清彦君。

○市長（松永清彦君） 先ほどもお答えいたしましたけれども、30名の方が工業団地を進めなさいと、そして御署名をいただけなかった方も駒野工業団地は賛成だという方も中にいらっしやいました。したがって、その皆様方のお気持ちをいただいて、そして誠心誠意、この窓口の方、そして組合長さんをお願いをしまいたい、このように思っております。

〔5番議員挙手〕

○議長（赤尾俊春君） 5番 六鹿正規君。

○5番（六鹿正規君） 誠心誠意お願いをしまいたいじゃなくて、私はこのタイムリミット、きょうは2日でございます。あと何日たったらいただけるのか、ちょっと私どもはわかりませんが、市長としてもその同意が、いつ皆さんの御理解がいただけるような形、また土俵が整って、そういった形に持っていくのはあとどれくらいかかるか、恐らく予測は立た

ないと思うんですけれども、そうすると最終的な26年度末ですか、ここに間に合うのか間に合わんのか、これが一番大きな問題ではないかと。間に合うのか、間に合わんのか、間に合わせるのか、間に合わせないのか、お尋ねします。

○議長（赤尾俊春君） 市長 松永清彦君。

○市長（松永清彦君） 間に合わせるように精いっぱい努力してまいりたいと思っております。

〔5番議員挙手〕

○議長（赤尾俊春君） 5番 六鹿正規君。

○5番（六鹿正規君） 同じ質問の堂々めぐりをやっておっつては、また議長のほうで、これは緊急質問じゃないというような静止が入るかもしれません。私がお尋ねするのは、タイムスケジュール、あの工程計画表は何だったのかと。公社とともに市が考えた、ぎりぎりのタイムリミットでつくられたと思うんですよ。それをもう少し重きに置いてもらわなくては、これはまずいと思うんですよ。

じゃあ、私が公社にお話を聞いたときに2年はかかるという工事を1年4カ月に縮めた、これは何ですかと言ったら、これがぎりぎりですと。このぎりぎりの、例えば8月31日までに同意をもらうという、このぎりぎりのタイムリミット、まだこれにぎりぎりがあるんですか。

私は、あなた方が全員協議会に示された、あの工程計画表を大変重きに思っております。ただ、頑張ります、努力します。じゃあ、今度最終の債務負担行為の期限はどうですか。

これは、今回、私どもいろんな事情があって時期が来ておるわけでございますけれども、本来は土地開発公社にもお出ましをいただいて、私どもこの海津市議会の議員さんともっともっとそういったことを、私は意見交換をやるべきじゃないのかと。ただ、市長が頑張ります、やります、工程計画表に沿ってやりますでは、肝心の仕事をなされる土地開発公社の意見を全く私は公の場で聞いていない。それでは納得ができないというのは議員だけではないと、また関係者の皆様のお気持ちではないかと、私はそう思うんです。

ですから、ここでこの問題は終わりますけれども、市長にぜひお約束していただきたい。次期選挙によって新しい議員が選ばれたのであれば、どうか公社の方にお出ましいただいて、間違いのない工程表を制作していただくように、それには当然関係者の御理解もいただくことが大事だと思います。そういったことを必ずやるというお答えをいただければ幸いです。

○議長（赤尾俊春君） 市長 松永清彦君。

○市長（松永清彦君） 先ほども岐阜県土地開発公社と協議を継続してまいりますと、いろんなお話し合いをしております。また、別の方法も検討できないかというようなことも今検討しております。

したがいまして、今、六鹿議員さんから御指摘があった、その会は開くべきであろうと、

このように思います。

[5 番議員挙手]

○議長（赤尾俊春君） 5 番 六鹿正規君。

○5 番（六鹿正規君） それでは、1 つお願いをして質問を終わりますが、何回も繰り返すようですけれども、関係者は海津市の発展を願っております。どうか全員の方の御理解をいただいて、また排水同意を数の力で押し進めるんでなくて、きちっと誠心誠意御理解をいただくべき努力をしていただいて、みんなが、海津市民が喜ぶようなことをやっていただくことをお願い申し上げまして、質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（赤尾俊春君） これで六鹿正規君の緊急質問を終わります。

◎議案第60号 平成25年度海津市一般会計補正予算（第3号）から議案第64号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてまで

○議長（赤尾俊春君） 次に日程第2、議案第60号から日程第6、議案第64号までの5議案を一括議題とします。

さきに各常任委員会に審査が付託してありますので、ただいまより各委員長から審査結果の報告を求めます。

最初に、総務委員長 飯田洋君。

[総務委員長 飯田洋君 登壇]

○総務委員長（飯田 洋君） それでは、総務委員会の審査の結果について御報告申し上げます。

海津市議会議長 赤尾俊春様、総務委員会委員長 飯田洋。

委員会審査報告書。

本委員会に付託された案件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告します。

議案番号、件名、結果の順に御報告をいたします。

議案第60号 平成25年度海津市一般会計補正予算（第3号）のうち本委員会の所管に属する事項、可決すべきもの。議案第62号 海津市税条例の一部を改正する条例について、可決すべきもの。議案第63号 海津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について、可決すべきもの。議案第64号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、可決すべきもの。

審査の経過を申し上げます。

ただいま御報告いたしました4案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決

定しましたことをあわせて御報告いたします。

主な質疑として、議案第60号 平成25年度海津市一般会計補正予算（第3号）のうち本委員会の所管に属する事項についての中で、総務費、公有財産購入費で職員駐車場整備について、将来土地の整備にかかる費用はどれくらいかの質疑に対しては、造成のための費用1300万円に、舗装、外構費用で開発協議にもよるが2,200万円ほど必要と考えるとの答弁があり、同じく誰が使用するかを市民へメッセージを出してほしいとの質疑に対しては、用地の取得は、職員専用の駐車場として予定し、将来的に職員駐車場利用料の徴収を検討するとの答弁がありました。

また、統合庁舎整備工事増ほか5件の工事請負費の内容についての質疑に対しては、統合庁舎整備工事増は、照明器具のLED化、網戸の設置、給排気ファン自動制御化、衛生器具の見直し、サーバールームの空調増強、LAN配線等によるもの。音声ネットワーク設備設置は、2カ年事業で電話交換機設備を更新するもの。防災無線機器移設は、今の海津庁舎から新庁舎へ移設するもの。LAN配線・サーバー移設は、新庁舎に新たなサーバー室を構成するもの。光ケーブル再構築は、光回線の構成を変更するもの。非常通報装置の新設は、押し鈴を設置し、直接県警、海津署へ非常通報が流れる設備を新たに設置するものとの説明がありました。

同じく統合庁舎整備第I期工事の契約総額は幾らになるのかとの質疑に対しては、今回の補正を含め総額13億8,978万8,000円との答弁がありました。

ほかに、新たに駐車場用地を求めたことにより庁舎南にあるテニスコートの今後の改修についての質疑に対しては、テニスコートを新たに1面整備するには3,000万円ほどの経費がかかり、用地を取得し、新しく駐車場を整備したほうが経済的と判断した。将来的にはオムニコート改修を検討したいとの答弁がありました。

ほか3案件については、質疑はありませんでした。以上でございます。

○議長（赤尾俊春君） 続きまして、文教福祉委員長 永田武秀君。

〔文教福祉委員長 永田武秀君 登壇〕

○文教福祉委員長（永田武秀君） それでは、文教福祉委員会に付託されました審査の内容についての報告をいたします。

海津市議会議長 赤尾俊春様。

委員会審査報告書。

本委員会に付託された案件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告します。

議案番号、件名、結果の順で申し上げます。

議案第60号 平成25年度海津市一般会計補正予算（第3号）のうち本委員会の所管に属す

る事項、可決すべきもの。議案第61号 平成25年度海津市介護保険特別会計補正予算（第1号）、可決すべきもの。以上でございます。

審査の経過を申し上げます。

ただいま報告いたしました2案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しましたことをあわせて御報告いたします。

主な質疑として、議案第60号 平成25年度海津市一般会計補正予算（第3号）中で保育士等処遇改善臨時特例補助金について本年度限りの補助金かの質疑があり、現時点では今年度末までと聞いていると答弁があり、また今後、市長会で要望もしていくとの発言もありました。

また、他の委員から、この補助金について計画等の提出はあるのかの質疑があり、私立保育園の保育士賃金について改善計画を提出いただき、実績の報告について審査をするとの答弁がありました。

また、他の委員からは、補助金が目的に合った使い方になっているか、担当で把握し、無駄のないよう監視してほしいとの要望もありました。

また、みかげの森の雨漏り修繕について、建築12年ほどで雨漏りすることについて質疑があり、今回の雨漏りは、一部しみになっているエントランスにある防水シートを大きな修繕にならないよう早目の修繕を行うものですとの答弁がありました。

続きまして、議案第61号 平成25年度海津市介護保険特別会計補正予算（第1号）については、質疑はありませんでした。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（赤尾俊春君） 続きまして、産業建設委員長 伊藤秋弘君。

〔産業建設委員長 伊藤秋弘君 登壇〕

○産業建設委員長（伊藤秋弘君） それでは、委員会報告をいたします。

海津市議会議長 赤尾俊春様、産業建設委員会委員長 伊藤秋弘。

委員会審査報告書。

本委員会に付託された案件は、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第109条の規定により報告します。

議案第60号 平成25年度海津市一般会計補正予算（第3号）のうち本委員会の所管に関する事項、可決すべきもの。以上です。

それでは、審査の経過を申し上げます。

ただいま報告いたしました案件は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定したことをあわせて御報告いたします。

また、いろいろ質疑がございましたが、採決に影響するような質疑ではございませんでし

た。

以上、報告を終わります。

○議長（赤尾俊春君） 各委員長の報告が終わりました。

それでは、各委員長の報告に対する質疑を行います。

初めに、総務委員会付託案件の質疑を許可します。

〔挙手する者なし〕

○議長（赤尾俊春君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

続きまして、文教福祉委員会付託案件の質疑を許可します。

〔挙手する者なし〕

○議長（赤尾俊春君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

続きまして、産業建設委員会付託案件の質疑を許可します。

〔挙手する者なし〕

○議長（赤尾俊春君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論・採決を行います。

議案第60号、議案第61号の討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 討論はないものと認めます。

お諮りします。議案第60号、議案第61号の2議案につきまして、一括採決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 異議なしと認めます。よって、議案第60号、議案第61号の2議案につきましては、一括採決いたします。

お諮りします。議案第60号、議案第61号の2議案について、委員長報告のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 異議なしと認めます。よって、議案第60号 平成25年度海津市一般会計補正予算（第3号）、議案第61号 平成25年度海津市介護保険特別会計補正予算（第1号）、以上の2議案は、委員長報告のとおり可決することに決定しました。

次に、議案第62号から議案第64号まで討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 討論はないものと認めます。

お諮りします。議案第62号から議案第64号までの3議案につきまして、一括採決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 異議なしと認めます。よって、議案第62号から議案第64号までの3議案につきましては、一括採決いたします。

お諮りします。議案第62号から議案第64号までの3議案について、委員長報告のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 異議なしと認めます。よって、議案第62号 海津市税条例の一部を改正する条例について、議案第63号 海津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について、議案第64号 海津市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、以上3議案は、委員長報告のとおり可決することに決定しました。

◎認定第1号 平成24年度海津市水道事業会計決算の認定についてから認定第4号 平成24年度海津市介護老人保健施設事業特別会計決算の認定についてまで

○議長（赤尾俊春君） 続きまして、日程第7、認定第1号から日程第10、認定第4号までの4議案を一括議題とします。

さきに決算特別委員会に審査が付託してありますので、ただいまより決算特別委員長から審査結果の報告を求めます。

決算特別委員長 水谷武博君。

〔決算特別委員長 水谷武博君 登壇〕

○決算特別委員長（水谷武博君） それでは、決算特別委員会の審査報告をいたします。

海津市議会議長 赤尾俊春様、決算特別委員会委員長 水谷武博。

委員会審査報告書。

本委員会に付託された案件は、審査の結果、次のとおりと決定したので、会議規則第109条の規定により報告をいたします。

認定第1号 平成24年度海津市水道事業会計決算の認定について、認定すべきもの。認定第2号 平成24年度海津市介護老人福祉施設事業特別会計決算の認定について、認定すべきもの。認定第3号 平成24年度海津市介護老人福祉施設事業デイサービスセンター特別会計決算の認定について、認定すべきもの。認定第4号 平成24年度海津市介護老人保健施設事業特別会計決算の認定について、認定すべきもの。以上でございます。

審査の経過を申し上げます。

8月19日に提出されました、各会計の決算書等の各書類により慎重審査をいたしました。

結果につきましては、認定4案件、全て全会一致で認定すべきものと決定をいたしましたことをあわせて報告いたします。

主な質疑としては、まず認定第1号 平成24年度海津市水道事業会計決算の認定の中で不納欠損の死亡10件、所在不明5件、受託工事費負担金1件の内容についての質疑がありました。死亡については、亡くなっている方で相続されていない滞納分を処理したもの、所在不明については、手紙を出しても戻ってきて所在がわからない方のもの、受託工事費負担金については、平成12年度に下水道工事の折、あわせて水道も引くという話があったが、10年以上経過し、水道を引く意思もないため不納欠損処分したものと答弁がありました。

また、経費に占める支払利息が約2割を占め、利息も4%を超えるものであるため、今後、経費の節約を考え繰上償還を検討してはとの質疑がありました。過去、繰上償還ができるものについては繰上償還をしています。4%台の起債の繰上償還の借りかえについては、制度上できるのか否か確認をいたしますと答弁。今後、償還できるものは償還していきたいと思うが、これから今尾の水源地の改修や、今使っていない駒野の水源地の再生等の計画があり、その費用もかさできます。現有の余剰金と金利を見ながら対応していきたいとの答弁がありました。

また、審査意見で、災害時に市民の重要なライフラインとして応急給水・復旧が迅速にできる体制を確立し、危機管理体制のさらなる整備を図られるよう期待すると述べられているが、計画はあるのかとの質疑に対し、小さい事柄としては、事前の給水タンクも購入いたしました。大きい事柄では、施設の悪いところの整備を早急に完了する必要があります。また、水源地が点在しているので、そういったところがお互い補填できるような配管布設を念頭に置いて整備していきたいとの答弁がございました。

次に、認定第4号 平成24年度海津市介護老人保健施設事業特別会計決算の認定の中で特別損失57万6,380円の内容についての質疑があり、平成23年度に国保連合会に申請した介護報酬の請求が平成24年度になって認められなかったことによるものと答弁がありました。

ほか2件については、質疑はございませんでした。

以上、報告を申し上げます。

○議長（赤尾俊春君） 委員長の報告が終わりました。

それでは、委員長の報告に対する質疑を許可します。

〔挙手する者なし〕

○議長（赤尾俊春君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論・採決を行います。

認定第1号から認定第4号までの討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 討論はないものと認めます。

お諮りします。認定第1号から認定第4号までの4議案につきまして、一括採決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 異議なしと認めます。よって、認定第1号から認定第4号までの4議案につきましては、一括採決いたします。

お諮りします。認定第1号から認定第4号までの4議案について、委員長報告のとおり認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 異議なしと認めます。よって、認定第1号 平成24年度海津市水道事業会計決算の認定について、認定第2号 平成24年度海津市介護老人福祉施設事業特別会計決算の認定について、認定第3号 平成24年度海津市介護老人福祉施設事業デイサービスセンター特別会計決算の認定について、認定第4号 平成24年度海津市介護老人保健施設事業特別会計決算の認定について、以上の4議案は、委員長の報告のとおり認定することに決定しました。

ここでしばらく休憩をいたします。

（午前10時12分）

○議長（赤尾俊春君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前11時50分）

○議長（赤尾俊春君） ただいま統合庁舎整備特別委員会から調査報告をしたいとの申し出がありました。これを日程に追加し、直ちに議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 異議なしと認めます。よって、統合庁舎整備特別委員会の調査報告についてを追加日程第2とし、直ちに議題といたします。

ここで追加議事日程を配付します。

〔追加議事日程の配付〕

◎統合庁舎整備特別委員会の調査報告について

○議長（赤尾俊春君） それでは、追加日程第2、統合庁舎整備特別委員会の調査報告につい

てを議題とします。

お諮りします。本件は、申し出のとおり、報告を受けることにしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 異議なしと認めます。統合庁舎整備特別委員会の調査報告を受けることに決定しました。

統合庁舎整備特別委員長より調査結果の報告を求めます。

統合庁舎整備特別委員長 西脇幸雄君。

〔統合庁舎整備特別委員長 西脇幸雄君 登壇〕

○統合庁舎整備特別委員長（西脇幸雄君） それでは、調査報告書を朗読させていただきます。

海津市議会議長 赤尾俊春様、統合庁舎整備特別委員会委員長 西脇幸雄。

統合庁舎整備特別委員会調査報告書。

本委員会は、会議規則第109条の規定により、調査の経過について、次のとおり報告します。

記。平成22年3月の定例会において、統合庁舎に求められる機能及び市民の利便性等総合的に調査・研究を行うことを目的として、18人の委員をもって統合庁舎整備特別委員会が設置されました。

以来、今日までに12回の特別委員会を開催し、統合庁舎建設に係る機能及び利便性を中心とした庁舎建設の実施設計に向けて調査・検討をまいりました。また、先進地への現地視察を実施するなど調査を行ってきたところであります。

その結果について集約して御報告いたします。

まず、平成22年3月19日に開かれた最初の委員会において、正・副委員長を互選いたしました。

次に、平成22年4月20日には統合庁舎基本設計の経過報告について、平成22年5月12日には統合庁舎基本設計におけるコンセプトについて、平成22年5月31日には実施設計に向けて、平成22年6月21日には実施設計について、平成22年7月1日には実施設計に伴う要望事項について、平成22年7月21日には要望事項に対する回答について、平成22年8月20日には海津庁舎3階フロアの改修について、平成23年4月21日には実施設計に伴う報告について、平成23年6月23日には実施設計書の説明について、平成25年2月21日には海津庁舎3階改修計画（案）について、平成25年9月2日には海津庁舎3階改修計画（案）について。

以上のとおり、統合庁舎基本設計及び実施設計に関しての説明等を執行部より受け、さらに可児市、穴栗市の庁舎建設整備の先進地視察研修を実施しました。

これらを踏まえて、統合庁舎実施設計については、各委員からの要望事項を取りまとめ、

執行部に提出し、その回答を受領しました。

各委員からの要望に対し、対応できるものについては、実施設計に取り入れ、対応できないものについては、その旨回答がありました。

統合庁舎整備Ⅰ期工事は、昨年6月7日に契約され、本年10月31日の完成予定です。平成26年度には、Ⅱ期工事として西館の耐震補強及び改修が計画されておりますが、現在の財政状況の適正な事業費で庁舎を建設することによって、市民サービスが滞ることのないように市政を運営していただき、新設合併しました旧3町の一層の一体感醸成がかなうような新庁舎を建設していただきますことを要望し、委員会報告といたします。

○議長（赤尾俊春君） 委員長の報告が終わりました。

それでは、委員長の報告に対する質疑を行います。

質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（赤尾俊春君） 質疑なしと認め、質疑を終結します。

これをもって統合庁舎整備特別委員会の調査報告を終わります。

統合庁舎整備特別委員会の調査はこれで終了いたしました。

◎閉会の宣告

○議長（赤尾俊春君） 以上をもちまして、今定例会に提出されました案件は全て議了いたしました。これをもちまして、平成25年海津市議会第3回定例会を閉会いたします。御苦勞さまでございました。

（午後0時00分）

上記会議録を証するため下記署名する。

平成 25 年 9 月 2 日

議 長 赤 尾 俊 春

署 名 議 員 伊 藤 秋 弘

署 名 議 員 山 田 武